1期生　越光 寿美（旧姓 山森）滋

越光さんご夫妻はソフトテニス部の同級生です。

皆様こんにちは。一期生として卒業し、早30数年が過ぎました。私達も結婚してから主人の転勤で海外へ色々行かせてもらいました。私自身日々の生活の中で「高校時代もっと真面目に英語を勉強しておけば良かったな(笑)。」といつも先生の顔を浮かべていました。縁あって二男(31期生航平さん)も東大津高校を卒業させていただきました。息子の在学中は何度か母校に行く機会もあり、懐かしく思い出されました。当時の瀬田駅周辺は今のような素晴らしい施設もなく、帰りのバスも乗り遅れたら駅まで何度か歩きました。でも何といっても一期生全員が思い出されるのは「プレハブの仮校舎」でしょう。どう見ても学校には思えなくて…、制服も皆で考えましたね。あの頃はネクタイ姿が珍しく注目されました。体育の授業といえばひたすら草引きや周辺の掃除をしていたような気がします(笑)。部活も全て自分達から始め、色んな場所を借りて汗を流しました。勉強面でも先生方は厳しくも優しく接して下さいました。時には一期生に全てがかかっているプレッシャーもありましたが、私達に地盤作りをしてほしいというそんな思いだったのでしょう。一学年も終わりに近づいた時、プレハブ生活も楽しくなってきて離れるのがつらかった記憶があります。先生方そして友達を通じて人との強いつながりを教わったように思います。今や東大津高校といえば、勉強はもちろん部活も素晴らしい飛躍となり、本当に嬉しい限りです。微力ながら地盤を作る一人となれた事に誇りを持ってもいいのかな!?と思っております。

1期生

4期生　南 英樹

「夢」を実現させるために

四年半前、「夢」を実現させるために滋賀県での教員生活にピリオドを打ち、長野県の野沢温泉村に移住しました。「夢」とは、娘をアルペンの選手、それもできれば世界を目指せるような選手にすることです。転居先の村の方々は本当に親切で村営住宅と地元小学校の講師の仕事を紹介していただきました。最初は大変なことも多かったのですが、日々移り変わりゆく自然の中で生活することができました。娘も野沢の子どもたちとすぐに仲よくなり、私も地元のスキースクールに所属することができました。「思い切って長野に来てよかった。」と思えた一年目でした。その後も地元の小学校で講師として働かせていただきながら、昨年奇跡的?に長野県教員採用試験に合格することができ、現在は、須坂市の小学校に教員として勤務しています。長距離通勤であることや滋賀県と違うことが多く、戸惑いばかりの毎日ですが、なんとかがんばってやっています。

娘も四年生になり、本格的にアルペン競技に打ち込んでいます。「世界」にどこまで近づけるかはまだまだ未知数ですが、「あきらめなければ夢は実現する」と言い聞かせながら、一緒にトレーニングしたり、スキーをしたりしています。こうして移住してきて今なんとかがんばれているのは、自分たちの家族の協力やここ野沢温泉村の皆さんがいろんな面で助けていただいたおかげだと感謝しています。

もし、機会がありましたら、ぜひ野沢温泉村にお越しください。

4期生

3期生　新井 弘道・久美（旧姓 吉川）

飛翔会の皆様こんにちは。早いもので私たちが東大津高校を卒業してから、30年が経ちました。結婚して子ども達も大きくなり、自分の中のリアルな記憶の高校生時代と同じ時期を、子ども達は今過ごしているんだなと感じるとき、懐かしい思いと改めて年月の経過を感じるこの頃です。卒業後はまったく母校を訪れることも無く、同窓会にはご無沙汰しているのですが、今回寄稿を依頼されるにあたり、改めて同窓会役員のみなさまには、慰労と感謝の気持ちをお伝えします。

さて、私達はと申しますと卒業後、紆余曲折を経て、現在、守山でダイニング・バー「無国籍料理SILK」を経営しています。「スーパー居心地いい空間の提供」と「本当に美味しいと感じる美酒・美食」をテーマに開業して13年になりました。

お客様のなかに東大津高校の同窓の方がいらっしゃいますと、在学時期は違えども懐かしい母校の話しに花がさきます。同じ場所に同じ年代の思い出を持つ仲間として、心易くお話しができます。こんなとき、同窓生っていいなと思います。最近では、子育ても一段落した3期生の同級生が、私達の店に集まるようになりました。50歳を前にして、あの頃に戻ったようになつかしい話しや、近況を知らせあい楽しい時間を過ごしています。体力的には、大分くたびれてきたなあと感じるこの頃ですが、微力ながら社会の役に立てるよう、マイペースでやっていこうと思います。最後に、コマーシャルで申し訳ないですが、飛翔会のみなさん、お近くにお越しの際は是非SILKにお立ち寄りください。

3期生

32期生　今野 福巳

皆さいかがお過ごしでしょうか。東大津32期生、常任理事の今野福巳です。今まで2年間、浪人生ということで理事会に参加できなかったことを、まずお詫び申し上げます。

現役の時は、滋賀医大の推薦を受けましたが、センター試験の足りなさから浪人が決定しました。

浪人一年目は、大津市立図書館や浜大津明日都の自習室を利用させていただき、通信教材等を使いながら毎日必死で勉強しましたが、しかし、独学はしょせん独学であり、井の中の蛙のように、またしても滋賀医大の受験に失敗しました。

二浪目は、両親に頼み込み予備校へ行かせていただきました。予備校では、ギリギリで授業についていきました。毎日毎日朝9時から夕方4時までの授業+予習・復習に追われました。

このようにして、予備校で勉強しましたが、一つ大切なことを学ばせて頂きました。それは、医師の倫理というものです。これは、特別授業なのですが、私の今年の受験校を大幅にかえることになりました。

医師とは、「患者の良き協力者として、患者の人生に沿って医療を行う医師」であるということです。医師を目指そうとすれば、患者とのコミュニケーションは必須です。今回、防衛医大から合格をもらい、4月始めから埼玉県は所沢で自分の目標とする、「全人的な医療を行える医師」を目指して勉強に励みます。

私もこれからは一理事として、理事会にも是非参加させていただこうと考えております。皆様とともにお世話になった東大津高校をさらに良くしていけるように知恵をしぼれれば幸いですこれからも、どうぞよろしくお願いします。

32期生